設備工事情報シート	衛　生	Ｖ－Ｐ－１	制 定	2006年4月1日
			改 訂	2015年3月1日
Ｖ．設備情報	ローシルエット一体形便器 採用時の注意点について		TOTO編	

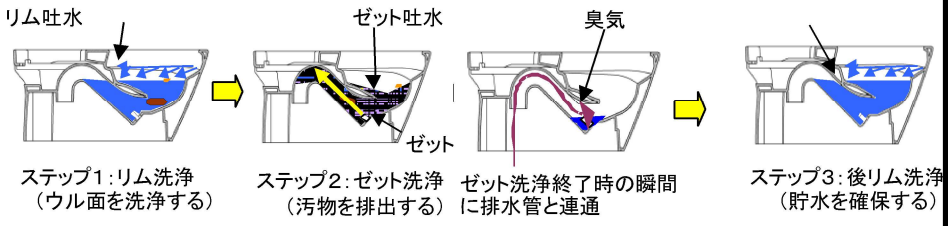
１．目的・概要

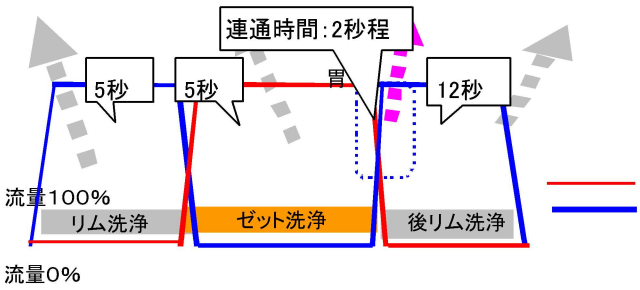
近年、ローシルエット一体形便器（通称タンクレストイレ）をマンションに採用する物件が増えている。しかし的確な給水配管径でないために、水圧・水量が確保できず洗浄不良などのトラブルとなるケースがある。最近は低水圧に対応できる商品も発売されているが、従来のローシルエット一体形便器をマンショ

２．ローシルエット一体形便器とは

写真-1

ローシルエット一体形便器（写真-1）とは、従来のタンクタイプと比較し、タンクに水を溜める必要がなく、連続して洗浄が可能と言う特徴がある。
下図のように洗浄ステップを切替えて行なうことで、約20L／分の瞬間流





便器洗浄ステップとバルブ動作パターン

３．採用時における注意点

(1)必要水圧について
　ローシルエット一体形便器の最低必要水圧は、メーカーカタログには0.07MPa（20L／分：流動時）と記載されている。
　したがって、浴室･台所などでの同時使用時においても流量を確保できるような配管設計に配慮する必要がある。
　しかしながらマンションにおける現実的な水圧や給水配管径を考慮すると0.07MPaの確保は難しい場合があり、また確保できる場合でも数ヶ所での同時使用時に便器洗浄をされた場合は一時的に最低必要水圧を確保できず洗浄不良となる可能性がある。
　そのためユーザーに「一度で汚物を排出できない場合は再度便器洗浄を行う必要がある」ことを説明し理解を得ることが必要。

(2)給水接続配管径について
給水管の呼び径は13以上とすること。
タンクタイプで一般的である呼び径10では、流量が不足する。

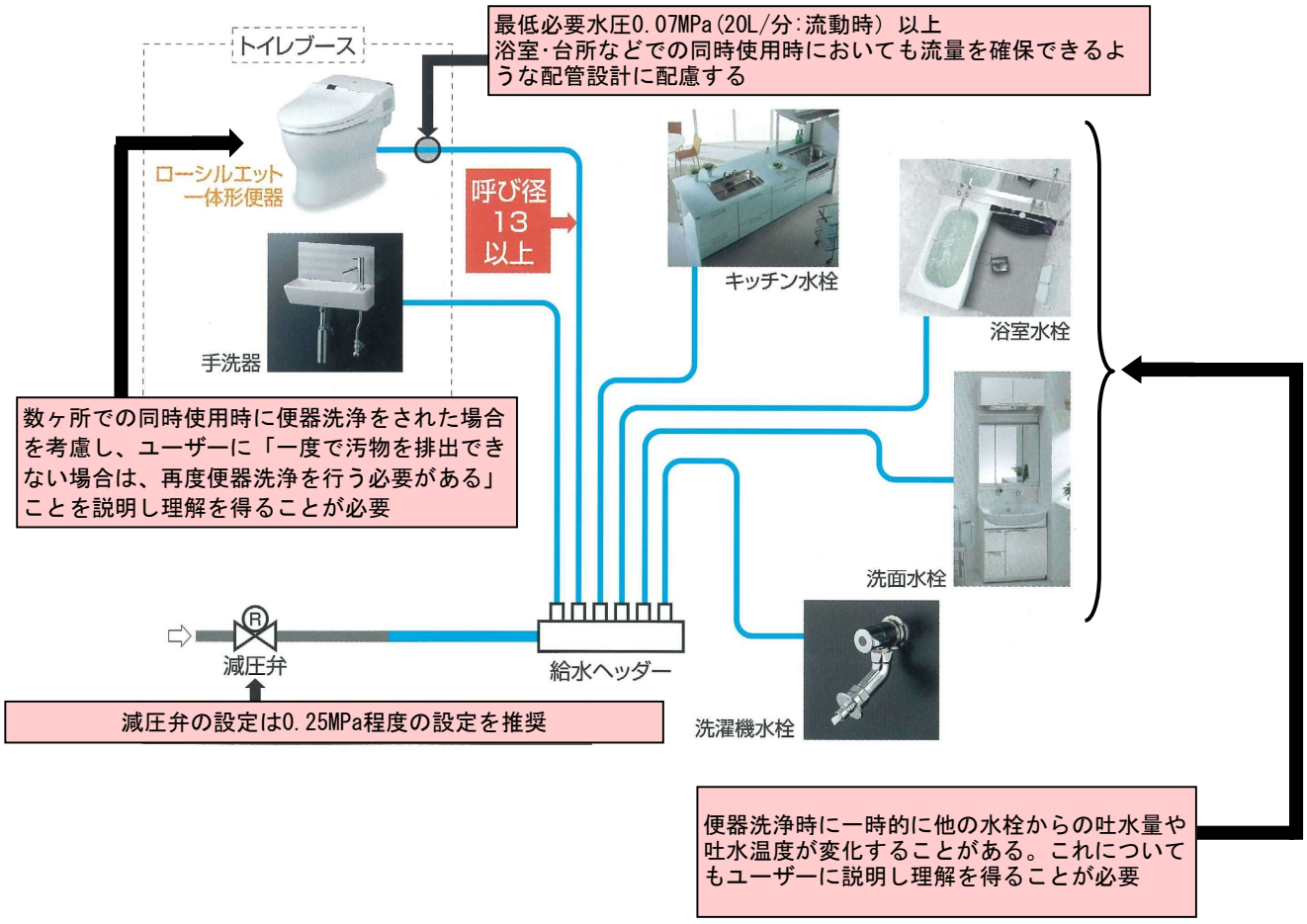
(3)リニューアルにおける便器交換について
水圧が低い場合は給水管径が細い場合には、洗浄不良などのトラブルに直結するため、リニューアルにおいてタンクタイプからの便器交換には十分検討すること。

(4)他の水栓からの吐水量・吐水温度について
便器洗浄時には約20L／分の水量が便器から吐出されるため、一時的に他の水栓からの吐水量や吐水温度が変化することがある。これについてもユーザーに説明し理解を得ることが必要である。

注：この情報シートは日建連の基準、規格ではありません

資　　料

４．マンション（ヘッダー配管）を考慮した配管設計について



５．問い合わせ先

ＴＯＴＯ(株)技術相談室
ナビダイヤル：TEL：0570-01-1010 FAX：0570-01-2111
(受付時間)
平日9：00～18：00／土曜日9：00～17：00（日・祝日・夏期休暇、年末年始休暇を除く）

注:この情報シートは日建連の基準、規格ではありません